

S A 田村市

H. 20, 10. 16 AM 6:14 長女誕生 2430g

もともと 神戸出身の私と 千葉出身の夫が 福島県に暮らす  
 事になり、果たしてこの異国の地で (大げさですが) 子供を  
 産んで育てられるのか... うん、子供が欲しい、と決心が  
 ついて子供を授かった時、私は 40歳。そして決まっていた  
 産むか、という産む場所が、ここになりました。

自然に授かった子なので 自然に産めるということには疑っていません  
 でしたが、産婦人科でも疑いなく 言いあげてくれるとは限り  
 ません。高齢初産に於いての 対応は、いつも 厳しい  
 ものです。

中山鳥助産院は HP で見つけました。産科の先生は  
 「待つことさえできれば 自然に産める」という言葉に「これだ!!」  
 と確信しました。その直感に 間違いはありませんでした。

ただ、生まれが 田村市なので 検診等は別の場所に  
 通いました。そこは最新の設備があり 女医さんだったので  
 いつも とっても混んでいて... 医療機関にはありがた

敬儀を見て 人を見ない

最悪のケースを想定して 決断をせまる  
 という 辛さがありました。

「新しい私よ」と思っていたも 悪いこと 怖いことと 言われると  
 なんとなく 不安に つまれてしまうもの...

その点、康乃先生に

「お産が軽そうね」とか 「大丈夫よ」と言われると それだけで  
 心軽く なんとなく 自信が ついたものです。

後期検査終了後は 産科に行くのを かの、のんびりと  
 出産の日を待つことが できました。

予定日は 10月23日、体調もずいぶんよくなったので 普段通り  
 毎朝 野菜を とったりして 過ごしていましたが、D日(予定日)は 満月という

14日の夜、トイレに走ると出血あり。これが おしりしかと  
 思いつく 大して腹痛もなく 前駆陣痛が 続く人もあるし... と  
 一旦は入院の準備をしたものの ホットミルクを飲んで布団へ。  
 翌日もケロリと暮らしていき、午後になり 30分毎に  
 お腹に42縮感あり。一応 夫に 早目に帰ってきてもらうことにして  
 夕方 4:45から 痛みは 15分間隔に。

康乃先生に連絡すると 20:00 「99分 時隔が かかるから  
 ゆっくり ご飯を食べて お風呂に入って から いろいろい、  
 安心して 過ごすも 間隔は 短く。

夫の運転で 母につまらざるも 満月が 光屋中  
 開通したこの 甲子トホに 通って 到着したのは 夜11:00。

しかし 陣の中で 痛みは 弱く 間隔は 長くなって いました。

「これだと 今晩は 産まれません、と 告げられたのが 不安が 大  
 目では どうか。部屋で 休もうとすると どんどん 陣痛が。

でも 「こんなものでは 産まれないんだ」と 思いこんで いたので  
 フー フー フー と がんばり 続けました。明け方 5:30 すぎ

もう 4:45... ヨレヨレになって 「ガー」を 押し 先生に 来て  
 もらうと 「アッ!、 「おつかいね、今 部屋を 暖めて

くわ、 子宮口は 全開大で 6:00 に 分娩 へ。

6:14 に 長女を 出産 することが できました。

ずっと がんばっていた 痛み。 「いきんで いいわよ」と 言われ

「んんん、と 声を出すと ヨォー の 2秒間 くらいで  
 赤ちゃんが 飛んできた。と 立ちあがった 夫が 話していました。

自分の 思、たより に 自然に 産む ことが できました。  
 中嶋助産院と 出会う ことが できた ことに 感謝 します。  
 1名 頼み する 人に 囲まれた 喜びは 幸せ 者 です。

11-20, 10, 19